

写真とグラフで見る

# 20年前と今



「十年一昔」なんて言いますが、「あっ」と言う間に過ぎてしまうような気がしませんか。でもその間にはいろいろな思い出が。そんな昔のことを確実に記録しているのが国勢調査。平成二年の国勢調査をもとに二十年前と比べてみました。



△市民会館で成人式(平成四年)

△富士見高校体育館で成人式(昭和四十五年)

昔のようす

今のようす



市役所の西側



市役所の南側



平成四年



平成四年

第1回	大正9年	(男)	(女)	(総数)
1	大正9年	31,574	31,373	62,947
2	14	33,294	32,768	66,062
3	昭和5年	35,754	35,382	71,136
4	10	41,254	40,622	81,876
5	15	46,618	47,153	93,771
6	22	56,608	59,079	115,687
7	25	59,814	61,529	121,343
8	30	64,567	65,632	130,199
9	35	71,556	70,579	142,135
10	40	80,684	78,888	159,572
11	45	91,125	89,514	180,639
12	50	99,912	99,283	199,195
13	55	102,470	103,281	205,751
14	60	106,268	108,180	214,448
15	平成2年	110,599	111,891	222,490

五・九・十三回、二十五年経つと、なぜか男女の数が逆転

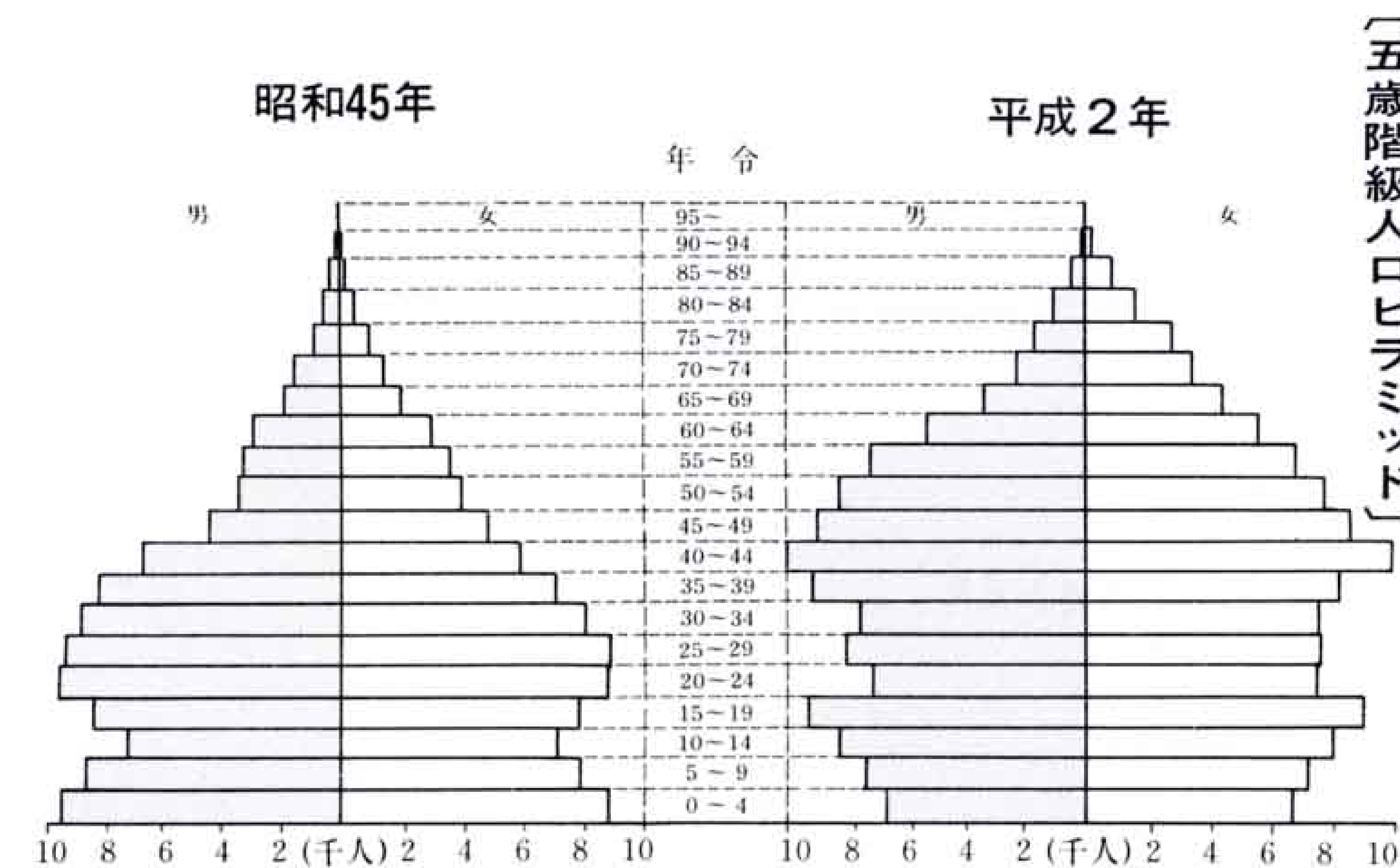
〔人口の推移〕

第一回の国勢調査は大正九年。七十年前に始まりました。その間に富士市の人口は、約三・五倍にふえ着実に発展していることを示しています。また、二十年で四万二千人ふえましたが、この数は今の富士川町・蒲原町・由比町の合計人口とほぼ同じになります。

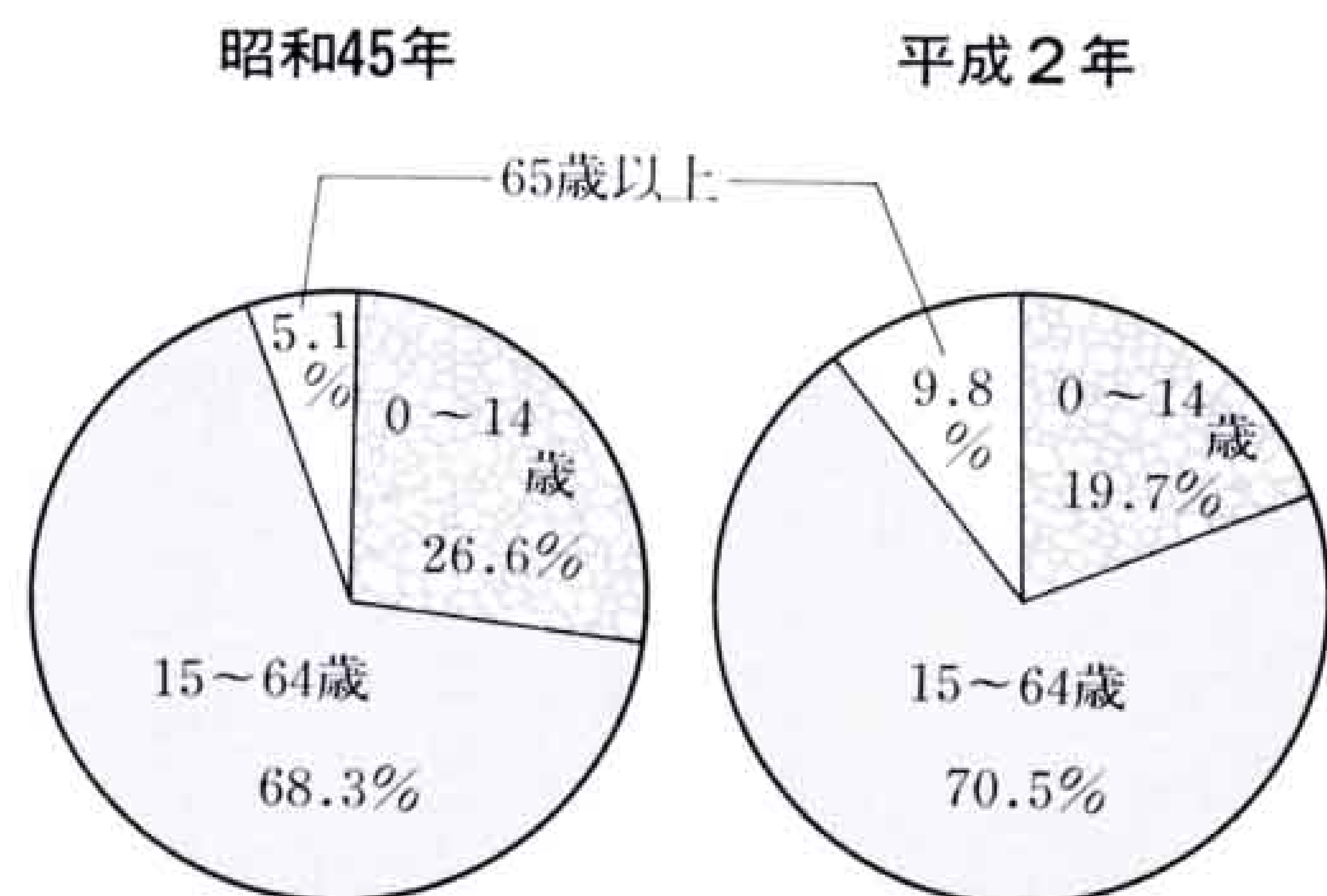
昭和四十五年  
人口 十八万六千三百三十九人  
世帯数 四万三千七百八十九世帯

平成二年  
人口 二十二万二千四百九十人  
世帯数 六万六千五百五十世帯

二十年で四万二千人の増



〔五歳階級人口ピラミッド〕



〔年齢区分別の構成割合〕

●平均寿命も延びました●

昭和45年	男	69.31 歳
	女	74.66 "
平成2年	男	75.86 "
	女	81.81 "



昭和四十六年

◇吉原小運動会



昭和四十二年

◇7歳のお祝い



昭和四十六年

◇広見保育園の園児たち



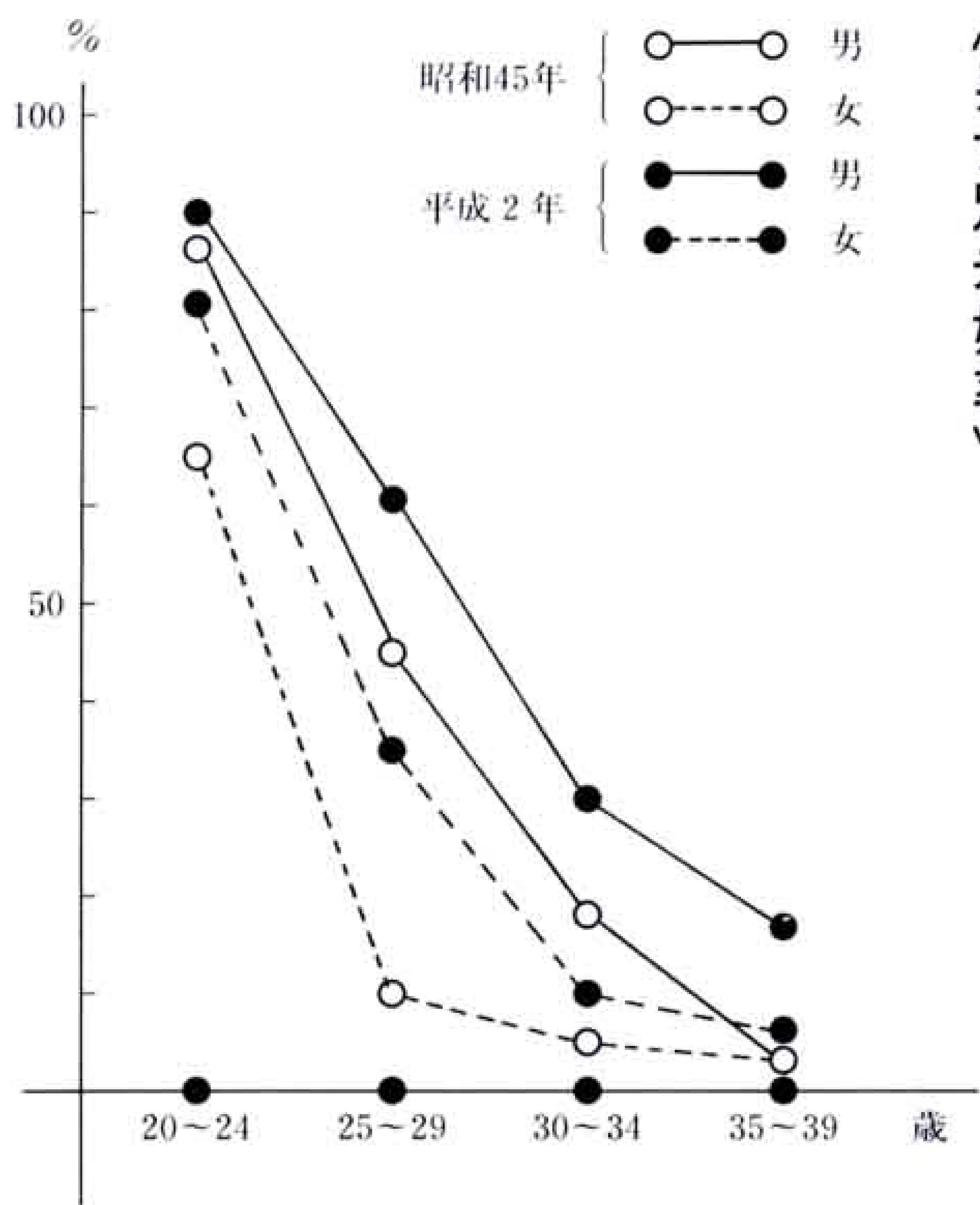
平成三年



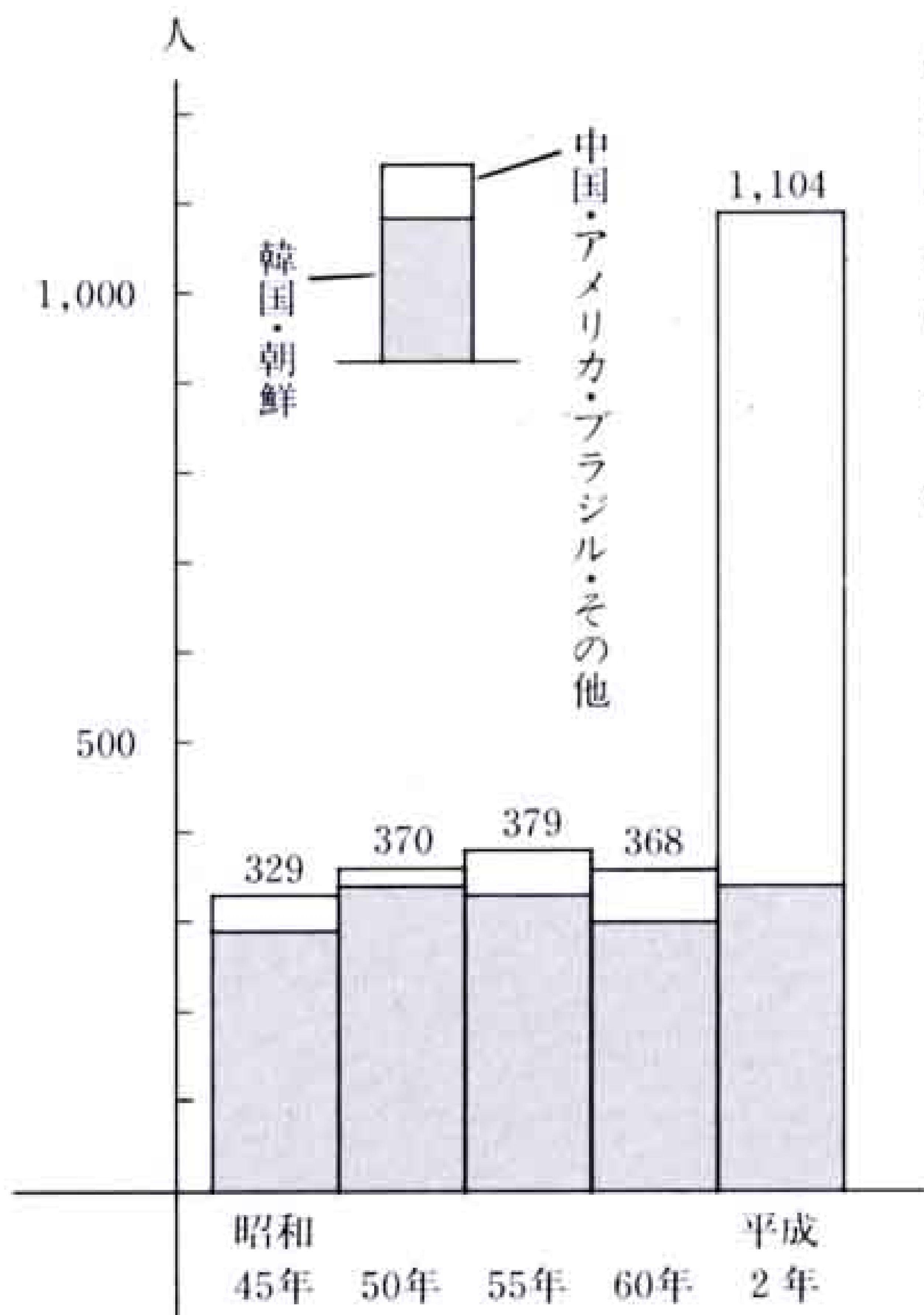
平成三年



平成四年

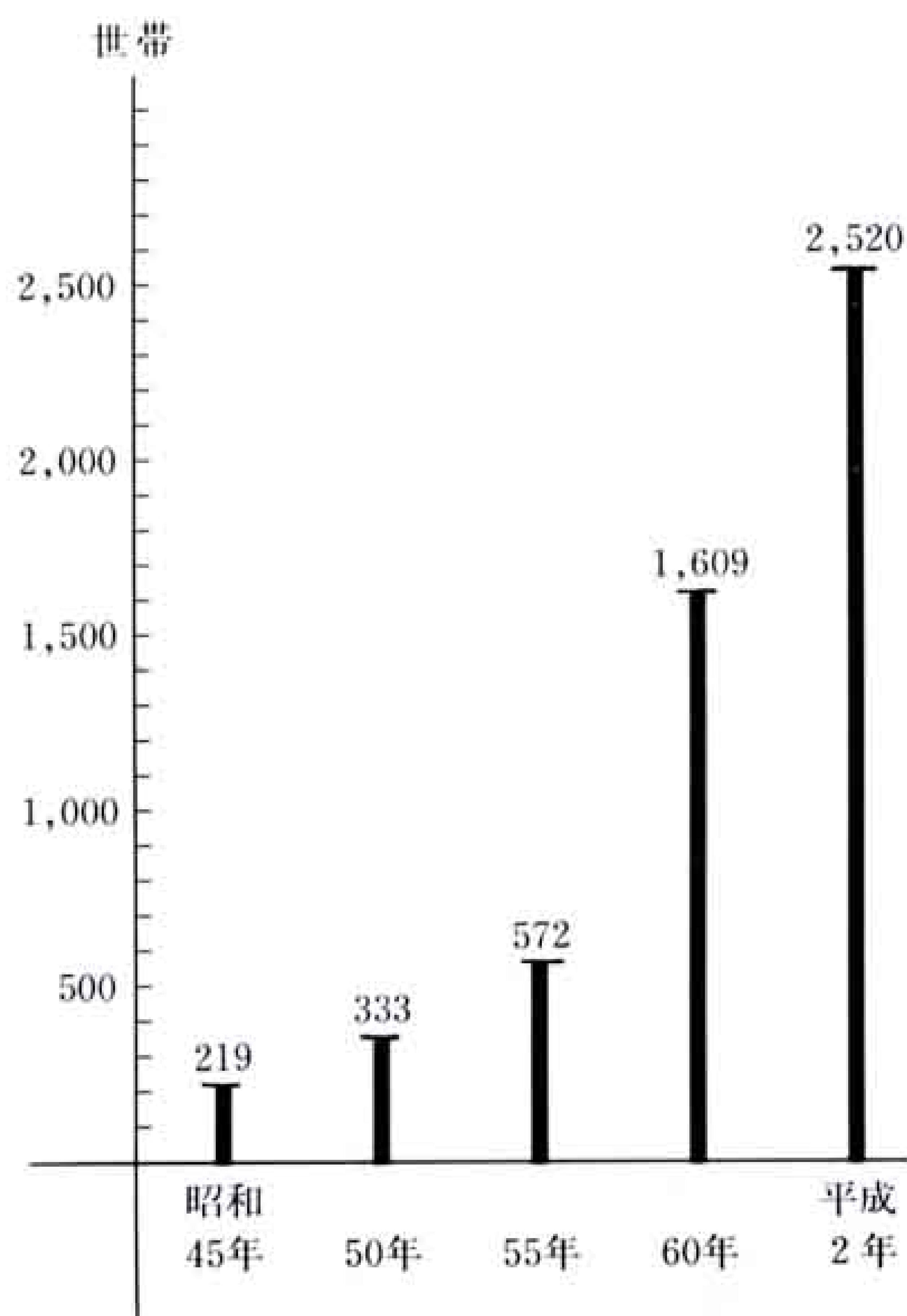


遅くなった結婚



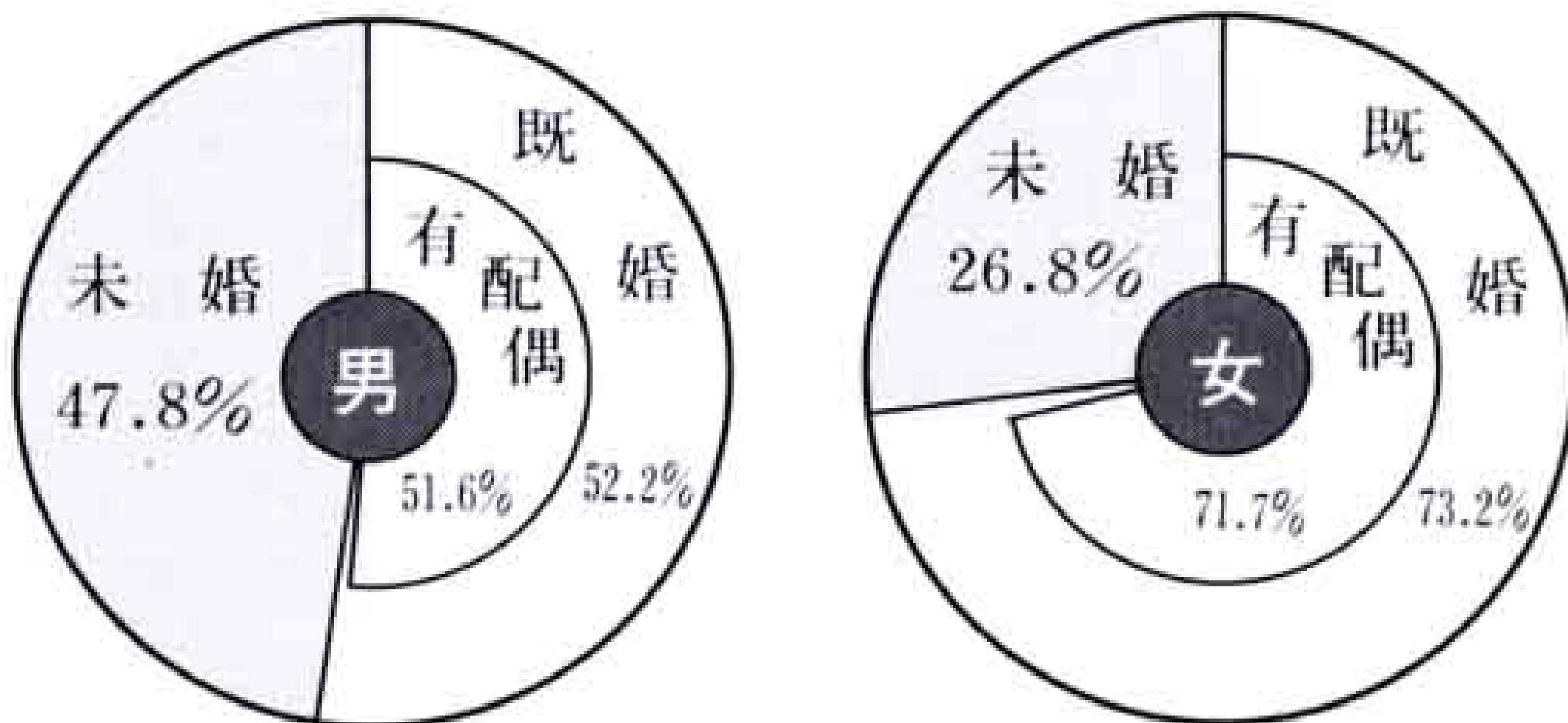
ブラジル人が急増

ずっと三百人台だった外国人が急激にふえ、平成二年に千百人を突破。そして現在は二千人を超え、内約半数はブラジル人です。原因は、平成二年六月に改正された出入国管理法の改正。日系人の二世や三世が自由に日本に住み、仕事ができるようになったのです。

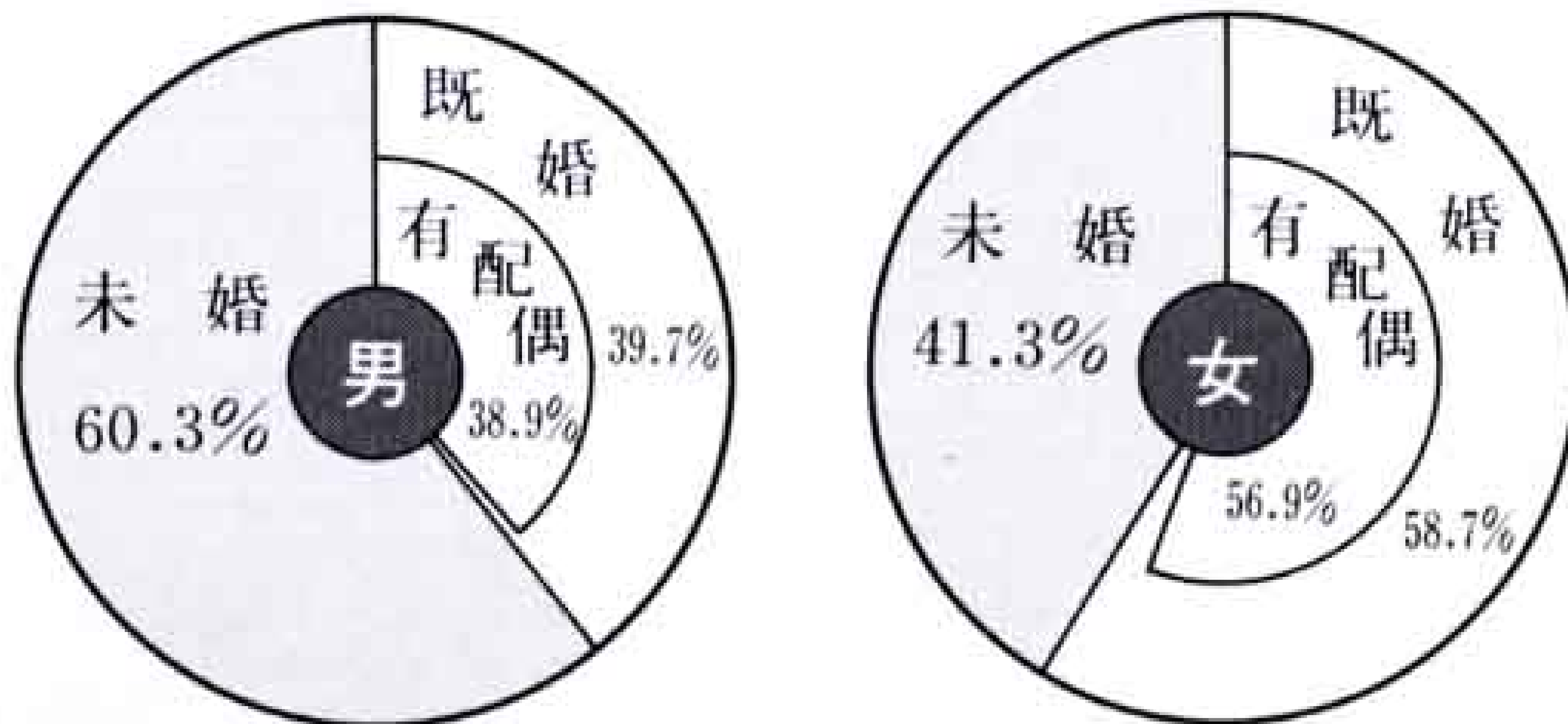


お年寄りだけの世帯が増加

(昭和45年)



(平成2年)



〔二十〜三十四歳の未婚・既婚割合〕

昭和四十五年の二十から二十四歳の未婚率は、女六十四%、男八十七・九%。そして平成二年は、女八十・九%、男九十%。女性は十六・九%もふえています。また、平成二年の三十五から三十九歳の男性の内六人に一人が未婚です。



⇨吉原商店街

昭和四十四年



⇨富士駅前

昭和四十五年



⇨毘沙門さん

昭和四十二年



平成四年

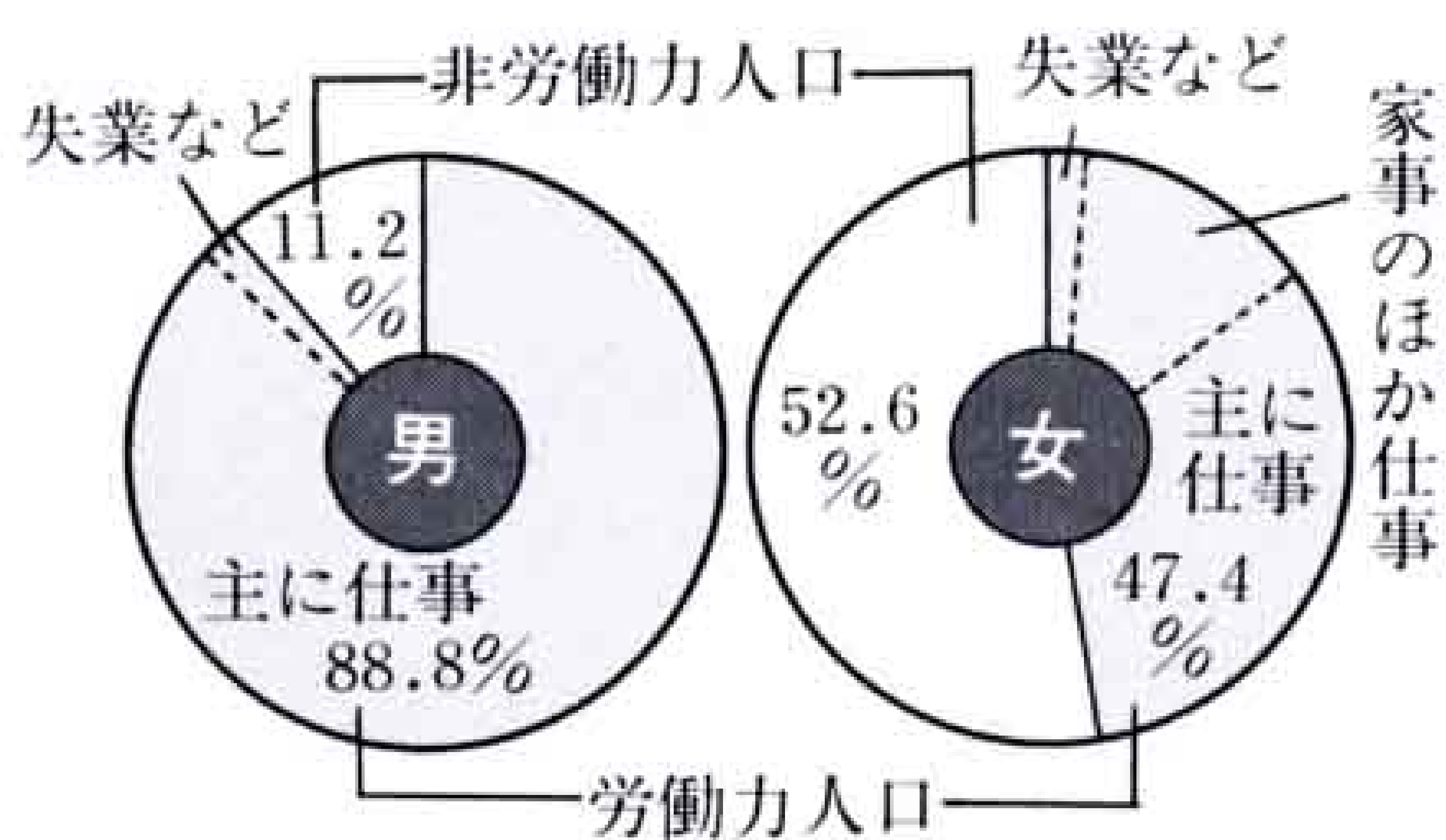


平成四年

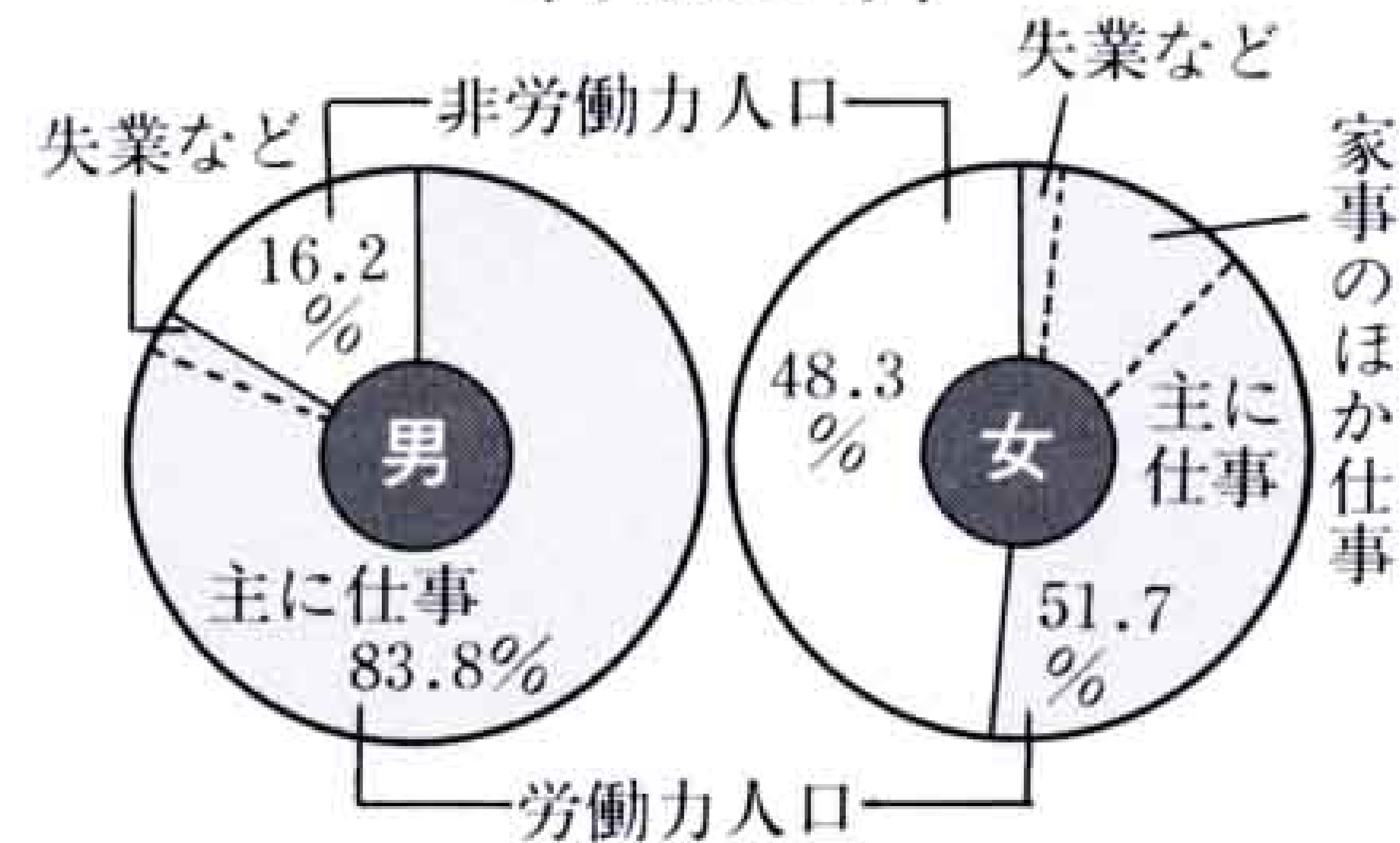


平成三年

(昭和45年)



(平成2年)

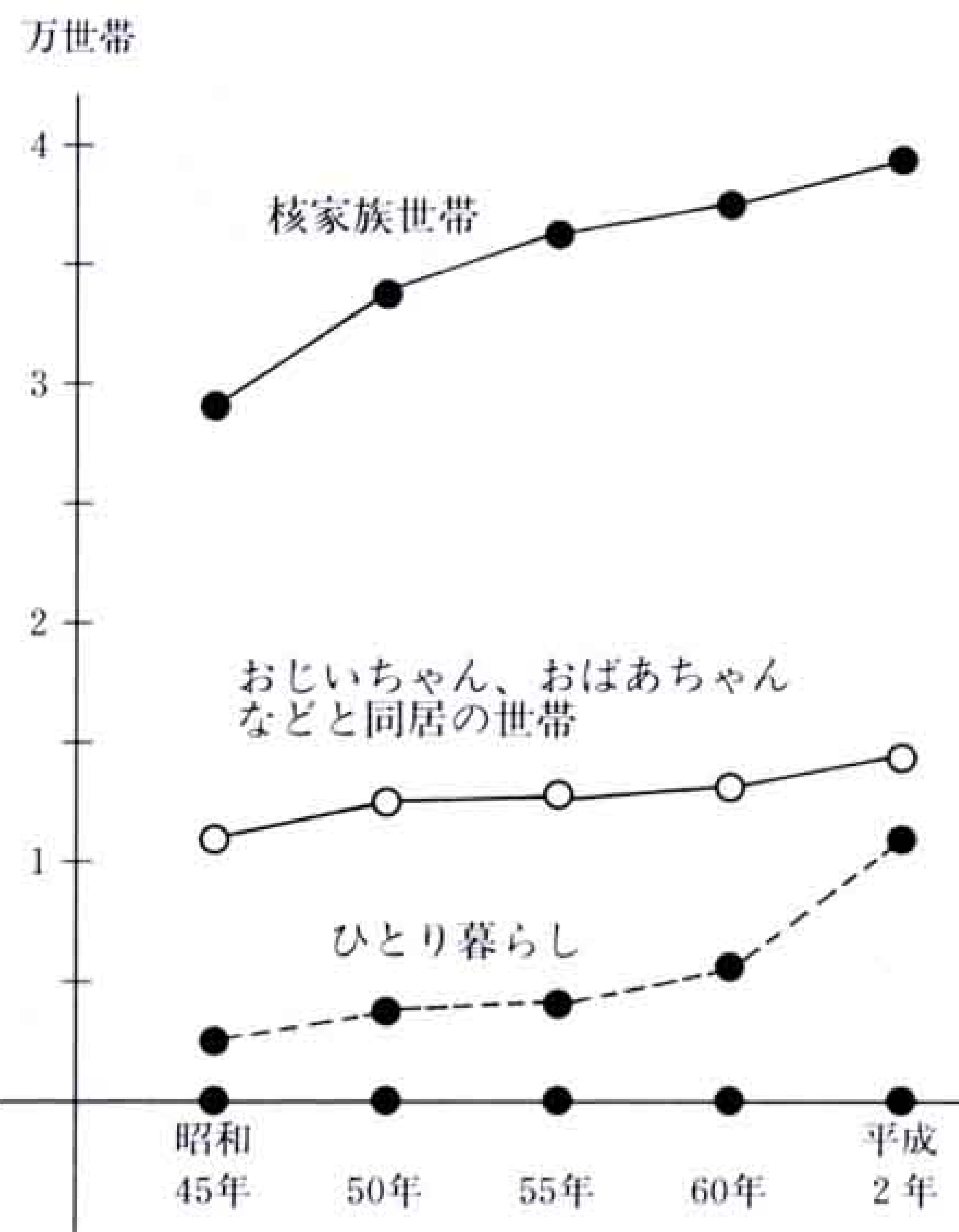


### ふえた働く女性

家事や通学、また高齢などで働けない人を除く十五歳以上の人の数が労働力人口です。この二十年の間に働く女性の割合はふえました。男性は減っています。

〔労働力人口〕

〔家族類型別世帯数〕

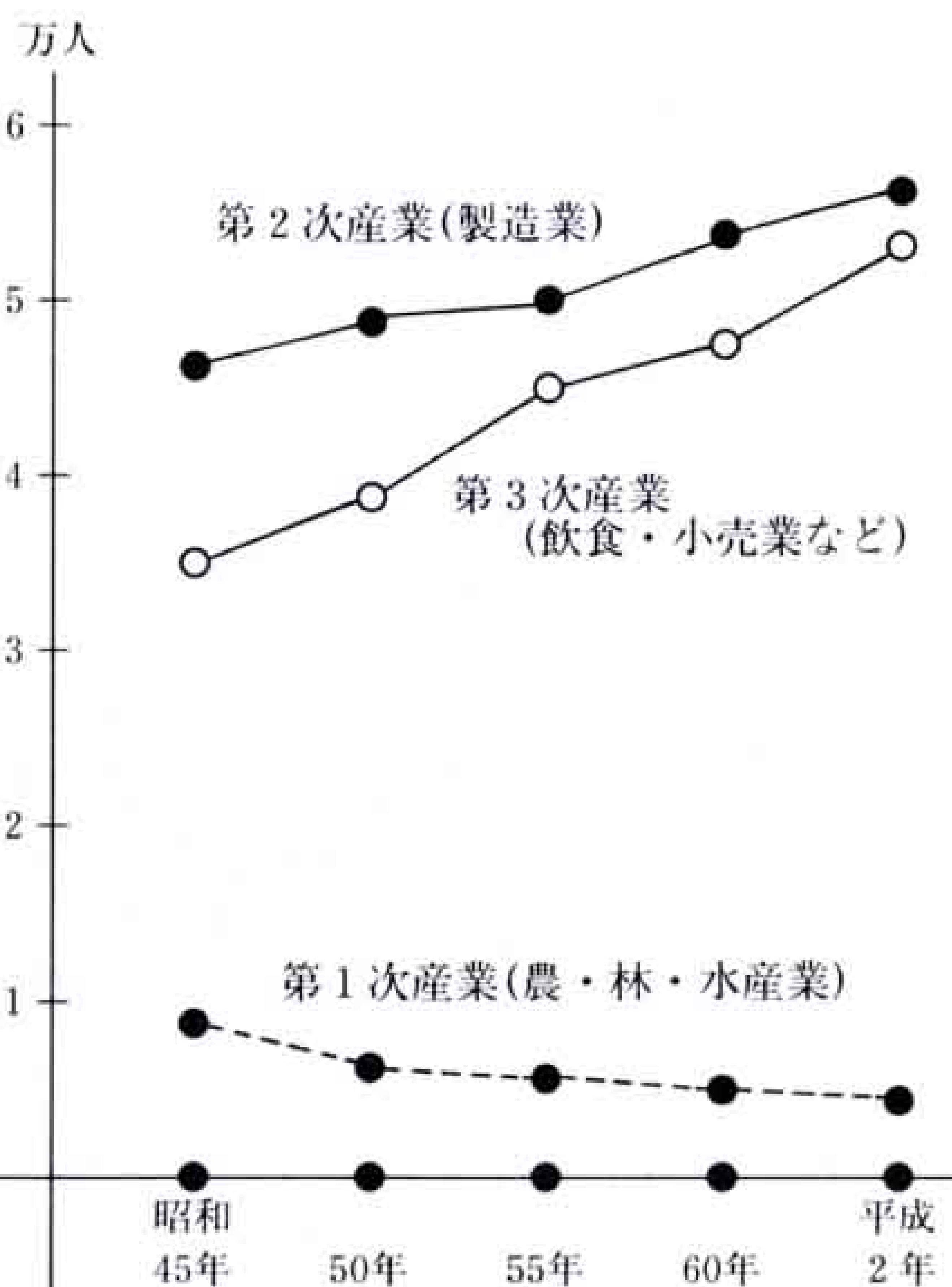


核家族化と高齢化が進むにつれて、お年寄りだけの世帯が二千五百二十世帯にふえました。内訳は、夫婦だけが千二百三十八、女性一人が千十七、男性一人が二百六十五です。

### ふえてきている第三次産業人口

自他ともに工業都市と認める富士市。紙の製造など第二次産業で働く人の数は、昭和四十五年に比べ一万人以上ふえています。しかし、小売業などの第三次産業で働く人は、二万人以上ふえました。

〔産業別就業者数〕



### 六八・二%が持ち家

持ち家の比率は昭和四十五年が五九・二%。そして平成二年が六八・二%と九%上昇しました。そして一人当たりの部屋数も、〇・九八から一・四六室に。

〔持ち家と借家の数〕

